

あ
また

秋田市しあわせづくり
市民意識調査Ⅱ報告書

2009年2月 秋田市

はじめに

市政運営の基本となる総合計画については、時代の変化に応じて見直しを重ねてまいりました。現在は、平成 18 年度に策定した第 11 次秋田市総合計画の基本構想に掲げる将来都市像「しあわせ実感 緑の健康文化都市」の実現に向けて、最初の 3 年間の目標や取り組みを定めた期間計画「19-21 期計画」に基づき、様々な施策や事業を展開しております。

期間計画は、社会情勢の変化や計画の進捗状況、成果の検証などを踏まえ、3 年ごとに見直すこととしており、平成 21 年度は「22-24 期計画」を策定することになります。

総合計画の策定や見直しにあたっては、本市施策の方向性を見いだすために、各分野に関する市民の意向や課題を把握する調査を行っており、前回は平成 17 年度に「秋田市しあわせづくり市民意識調査」を実施いたしました。

今回の調査は、前回調査からの市民意識の変化や新たな分野に関する意向を捉え、期間計画の策定に反映させるために実施したものです。

調査結果については、変化する市民ニーズに沿った効果的な施策を盛り込んだ計画とするための基礎資料として、策定作業の中で十二分に活用してまいります。

調査の実施にあたり、多項目のアンケート調査にご協力くださいました市民のみなさま、そして、この報告書の作成にあたり、集計・分析にご尽力いただいた秋田高専の折田先生に、心から感謝申し上げます。

平成 21 年 2 月

秋田市長 佐竹敬久

目 次

秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱの概要	1
第1章 調査結果の概要	
第1節 住みごちについて	
1 秋田市の全体的な評価(問1)	9
2 秋田市の分野別の評価(問2)	10
第2節 秋田市の施策について	
1 力を入れてほしい施策(問3①)	43
2 最も力を入れてほしい施策(問3②)	49
第3節 市民協働について	
1 市と市民との役割分担(問4)	55
2 NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会(問5①)	63
3 どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか(問5②)	64
4 市民活動への関心(問5③)	70
5 市民活動への参加(問5④)	71
6 実際に行っている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野(問5⑤)	72
第4節 都市内地域分権について	
1 都市内地域分権の認知度(問6①)	75
2 どのようにして都市内地域分権を知ったか(問6②)	76
3 秋田市における都市内地域分権の推進について(問6③)	78
第5節 行政サービスについて	
1 公共施設の利用頻度について(問7①)	79
2 公共施設の利用料について(問7②)	83
第6節 安全安心な暮らしについて	
1 より充実した方がよい分野(問8①)	102
2 地域が積極的に行動すべきと思う分野(問8②)	109
第7節 食料に関する意識について	
1 食品を購入する際の意識(問9①)	115
2 地産地消に期待すること(問9②)	127
第2章 調査結果の分析	135
第3章 調査結果集計表	155
○関係資料	204

秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱの概要

1 秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱの目的

しあわせづくり市民意識調査Ⅱは、平成19年度からスタートした第11次秋田市総合計画の「22-24期計画」を平成21年度に策定するにあたり、その基礎資料として、平成17年度に行った前回調査からの市民の意識の変化や、新たな調査分野に関する市民の意識を捉えるために実施した。

2 秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱの実施手法

郵送で調査対象者へ調査票を送付し、その集計結果を取りまとめたほか、有識者から前回との比較など、各分野に関する分析を依頼し、本市の行政需要や課題などを探った。

3 秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱの実施状況

(1) 実施期間

平成20年10月20日（月）～平成20年11月4日（火）

(2) 調査対象者

15歳以上の市民から無作為抽出した3,000人（平成20年10月1日現在）

中央地域 688人 東部地域 597人 西部地域 337人 南部地域 459人

北部地域 761人 河辺地域 89人 雄和地域 69人

（平成20年9月1日現在の人口世帯表に基づく地域別人口比率により算出）

(3) 実施方法

郵送による無記名アンケート

(4) 有効回答者数

1,583人（回答率：52.8%）

(5) 有効回答者の基本属性（2～5ページ参照）

(注)

1 集計結果のパーセント値は、全て小数点第2位以下を四捨五入しているため、択一回答の構成比の合計が100%にならない場合がある。

2 本報告書において、年齢の表記は以下の例による。

「10代」：15歳～19歳 「20代」：20歳～29歳 「30代」：30歳～39歳

「40代」：40歳～49歳 「50代」：50歳～59歳 「60代」：60歳～69歳

「70代以上」：70歳以上

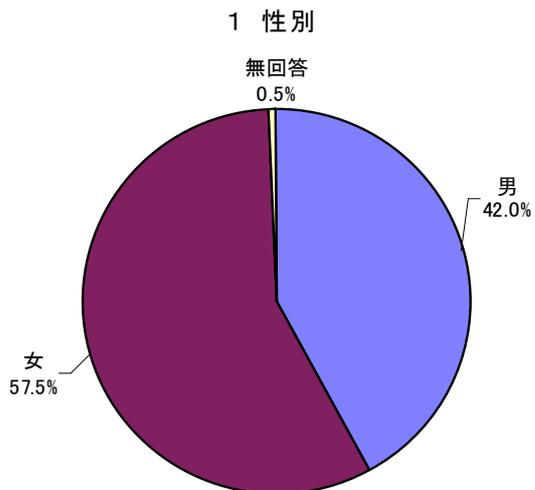
3 本文中のカッコ内数値は、前回調査時のものである。

(5) 有効回答数の基本属性

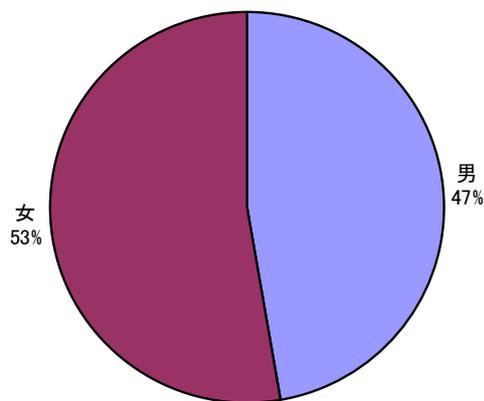
※ 属性未回答のものがあるため、各所属の合計は有効回答数と一致しない。

属性		有効回答者		推計人口 (H20. 10. 1 現在)	
		客対数 (人)	構成比 (%)	15歳以上人口 (人)	構成比 (%)
合計		1,583	100.0	327,314	100.0
性別	男	665	42.0	154,501	47.2
	女	910	57.5	172,813	52.8
年代	10代	74	4.7	16,062	5.7
	20代	137	8.7	34,604	12.2
	30代	216	13.6	44,226	15.6
	40代	233	14.7	41,839	14.8
	50代	323	20.4	50,996	18.0
	60代	279	17.6	41,203	14.6
	70代以上	314	19.8	53,707	19.0
居住地域	中央	369	23.3	75,016	22.9
	東部	324	20.5	65,092	19.9
	西部	173	10.9	36,802	11.2
	南部	234	14.8	50,113	15.3
	北部	384	24.3	83,005	25.4
	河辺	48	3.0	9,758	3.0
	雄和	30	1.9	7,528	2.3
居住形態	単身	122	7.7		
	夫婦のみ	415	26.2		
	親子(2世代)	743	46.9		
	親・子・孫(3世代)	216	13.6		
	その他	78	4.9		
居住年数	30年以上	926	58.5		
	20年～29年	256	16.2		
	10年～19年	225	14.2		
	5～9年	83	5.2		
	5年未満	83	5.2		
出身地	秋田市内	873	55.1		
	秋田市以外の秋田県内	519	32.8		
	秋田県外	182	11.5		

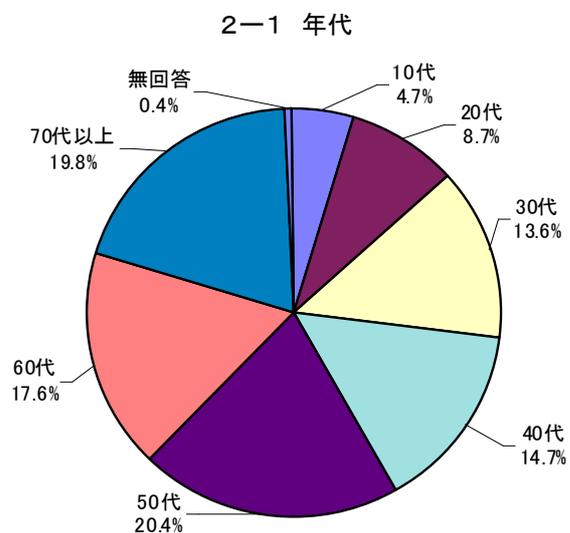
① 性別



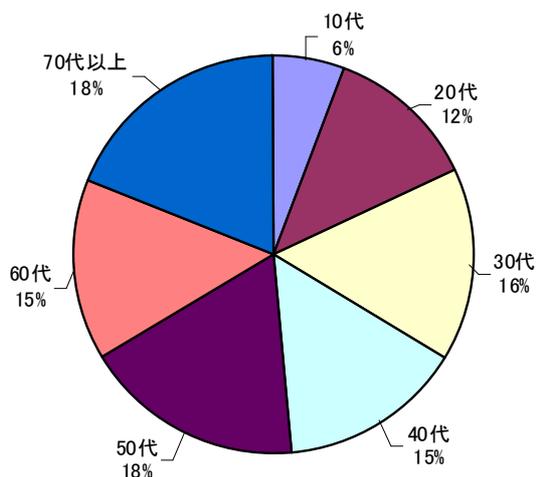
(参考) 平成20年10月1日現在の推計人口



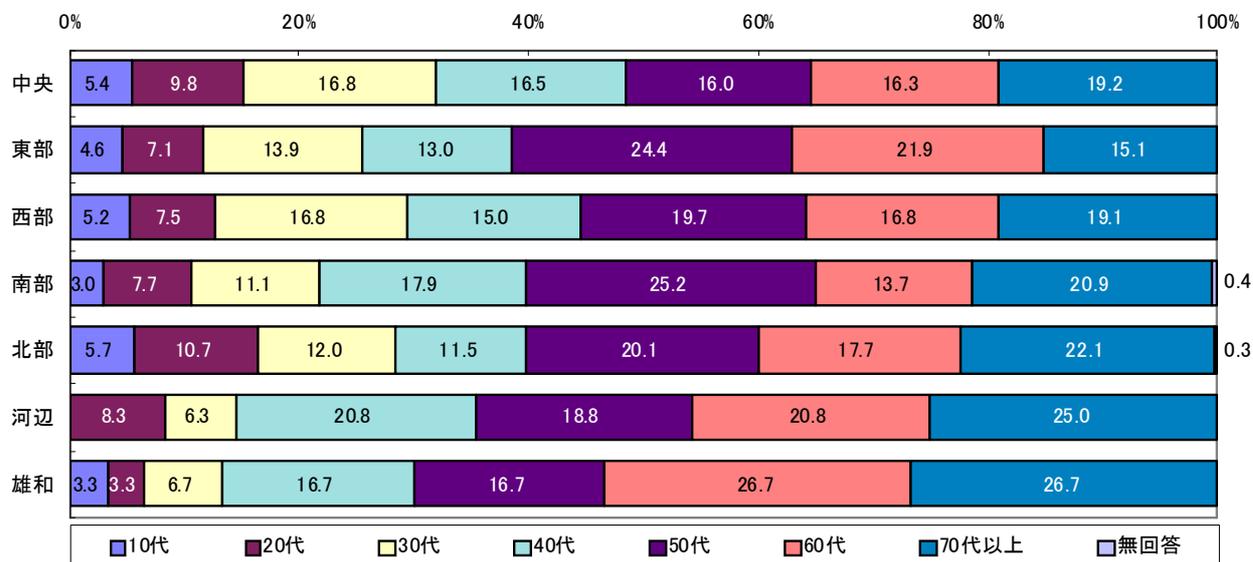
② 年代 (平成20年10月1日現在の満年齢)



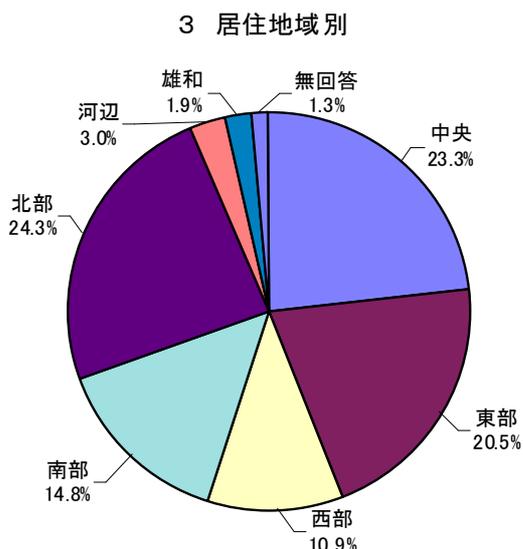
(参考) 平成20年10月1日現在の推計人口



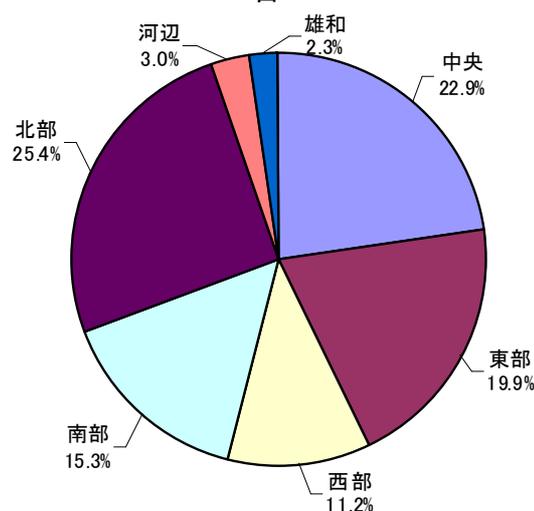
2-2 居住地域別 年代



③ 居住地域

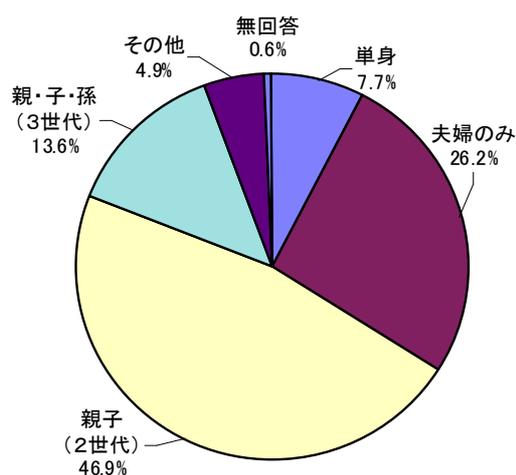


(参考) 平成20年10月1日現在の推計人口

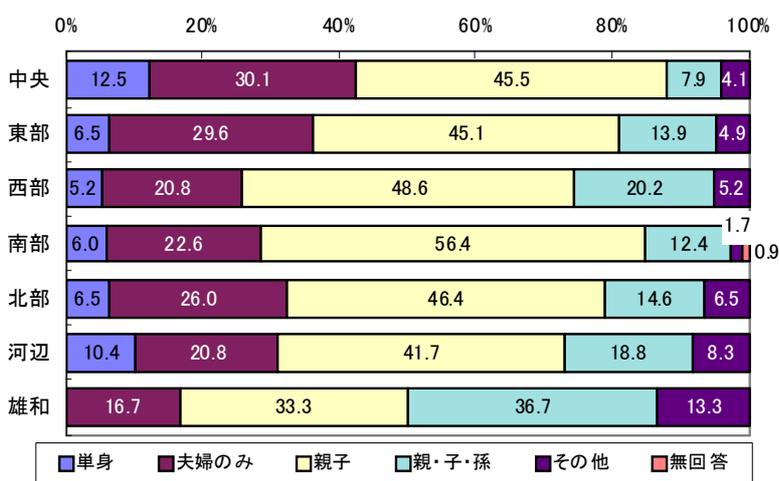


④ 居住形態

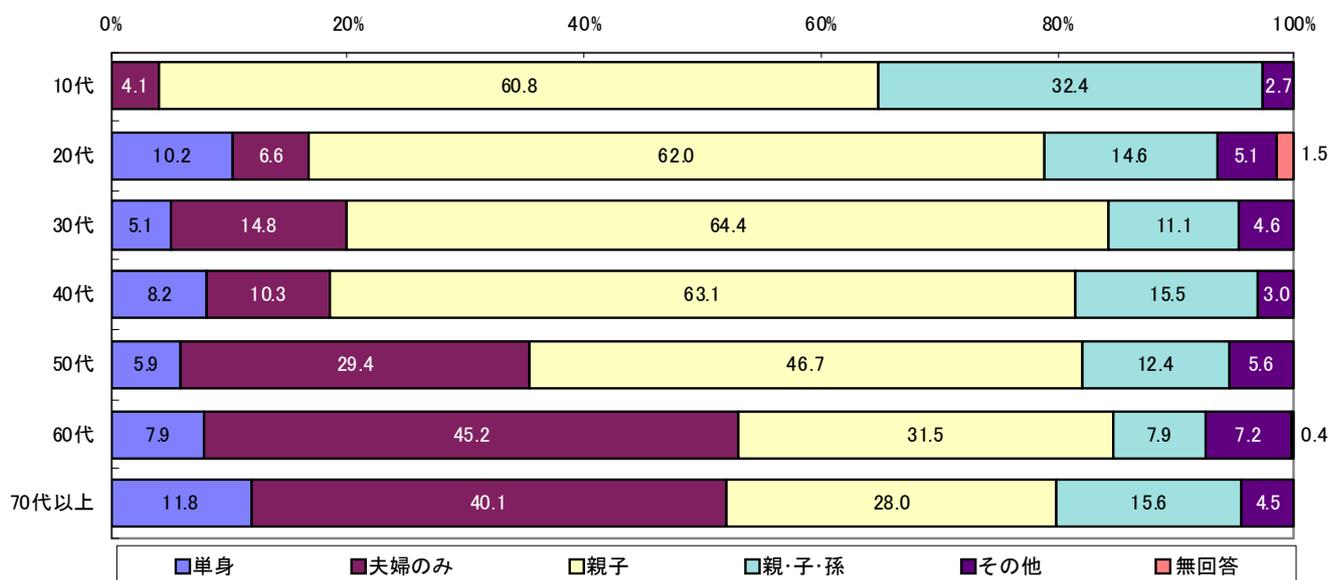
4-1 居住形態



4-2 居住地域別 居住形態

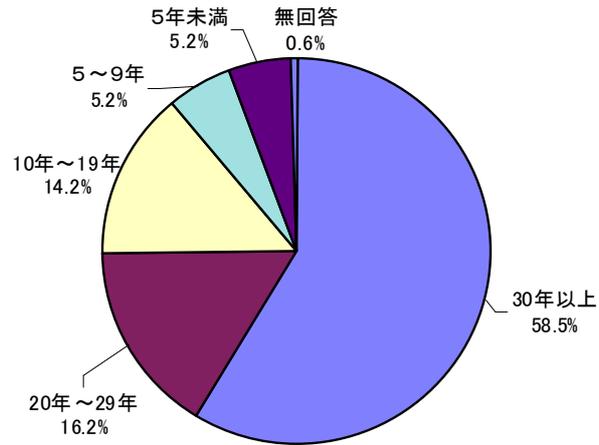


4-3 年代別 居住形態



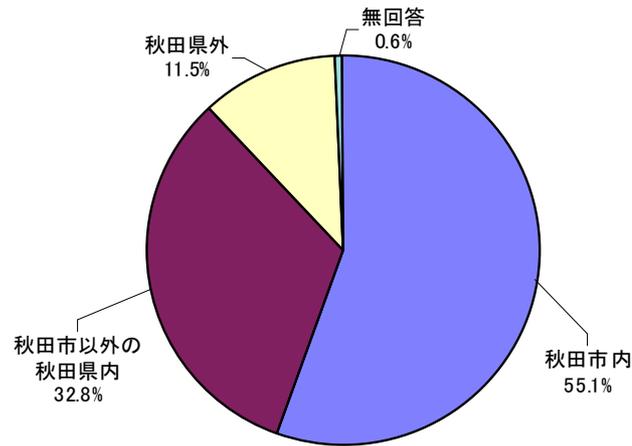
⑤ 居住年数

5 居住年数

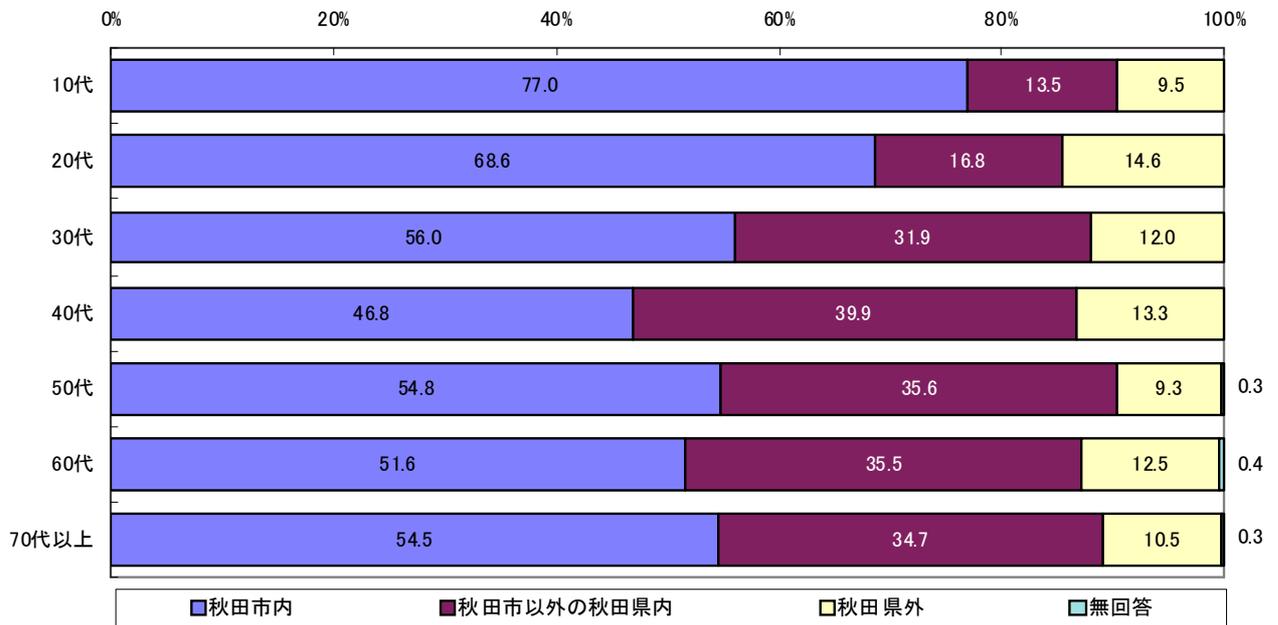


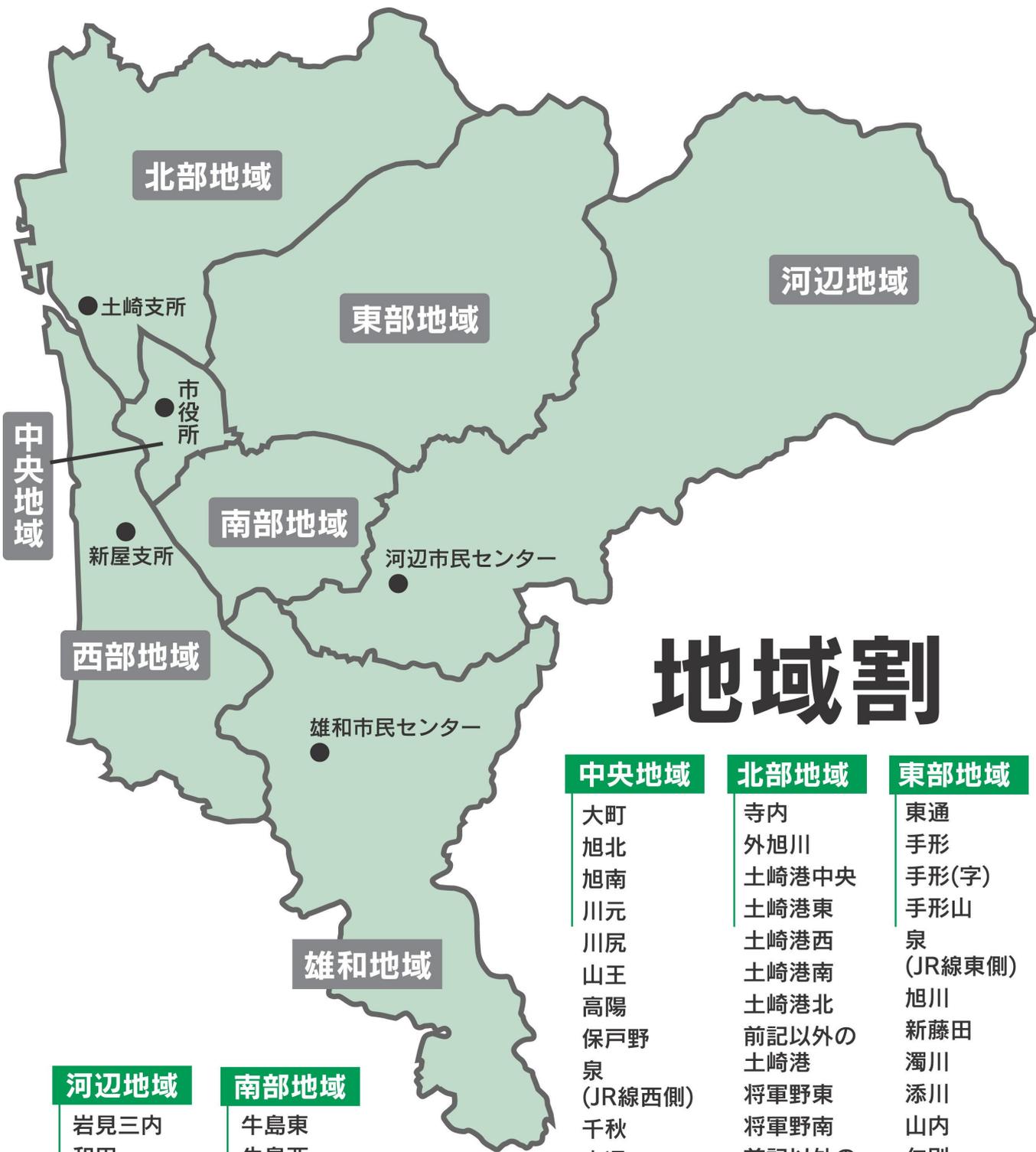
⑥ 出身地

6-1 出身地



6-2 年代別 出身地





地域割

中央地域

大町
旭北
旭南
川元
川尻
山王
高陽
保戸野
泉
(JR線西側)
千秋
中通
南通
檜山
茨島
八橋

北部地域

寺内
外旭川
土崎港中央
土崎港東
土崎港西
土崎港南
土崎港北
前記以外の
土崎港
将軍野東
将軍野南
前記以外の
将軍野
港北
飯島
金足
下新城
上新城

東部地域

東通
手形
手形(字)
手形山
泉
(JR線東側)
旭川
新藤田
濁川
添川
山内
仁別
広面
柳田
横森
桜
桜ガ丘
桜台
大平台
下北手
太平

河辺地域

岩見三内
和田
戸島

南部地域

牛島東
牛島西
牛島南
卸町
大住
仁井田
御野場
御所野
四ツ小屋
上北手
山手台

西部地域

新屋
勝平
浜田
豊岩
下浜

雄和地域

川添
種平
戸米川
大正寺